

平成29年度事業計画

わが国は、世界のどの国も経験したことのない人口の急減及び超高齢化に直面し、労働力人口が大幅に減少することが懸念される中、高齢者が健康で意欲と能力がある限り、年齢に関わりなく働き続けることのできる「生涯現役社会」の実現が求められており、その受け皿として機能するシルバー人材センターの果たす役割は、ますます重要になっているところです。

また、会員が就業することにより、地域の活性化につながり、加えて社会参加を促すことにより、健康維持・介護予防につながり元気な高齢者を増やし、結果として医療費及び介護費の削減にもつながります。

シルバー事業を拡大するには、就業開拓はもちろんのこと、「一会員一件」を目標に、会員の拡大については「一会員一名」を目標に、会員及び役職員が一丸となって取り組んでまいります。

また、新たに始まっている「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を活用し、サービス業等の人手不足分野や介護、育児等の現役世代を支える分野で、シルバー人材センターが派遣により就業する機会を提供する事業として強く推し進めていきたいと考えます。

さらに、最終年度になる「第二次中期事業計画」に基づき、その目標達成に向けて、基本理念である「自主、自立・共働、共助」を堅持しながら、一層の機能強化と効率的な事業運営を心掛けるとともに、関係機関及び関係団体と連携を図りながら、公益法人として高齢者並びに地域社会の期待に応えられるよう、シルバー事業の推進に取り組み、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与するため、シルバー人材センター事業を積極的に推進してまいります。

I 基本方針

1. 多様な知識・資格・能力のある高齢者の入会促進と就業機会の確保・拡大を図る。
2. 安全・適性就業を推進し、魅力あるシルバー人材センターの実現に努める。
3. 財政基盤の強化を図るとともに、組織の強化及び活性化に努める。
4. 公益法人として、公益目的事業を着実に実施するとともに、法に準拠した適切な運営に努める。

II 実施計画

- (1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

- ① 高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域

社会づくりに寄与するため、高齢者に相応しい地域に密着した仕事を家庭、民間事業、官公庁等から有償で引き受け、これをあらかじめ登録した高齢者に対して、その能力、希望等に応じて請負又は委任の形式により提供する事業を行う。

数値目標

1. 就業延人員	32,000人日
2. 受注件数	800件
3. 契約金額	1億5千万円

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な就業に係る就業機会の提供

① 有料の職業紹介事業

雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に就業を希望する高齢者の為に有料の職業紹介事業を行う。

② 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

派遣による雇用就業を希望する会員の為に、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の範囲で一般労働者派遣事業を行う。

(3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会

① 技能講習会の実施

就業上必要な知識、技能を就業意欲のある高齢者に付与することにより実際の就業に結び付けるとともに、より広い就業分野での仕事の確保と提供を行い、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与する。

<取り組み計画>

新会員向け安全講習会（9回）就業会員向け安全講習会（1回）
技能講習会（3回）

(4) 上記（1）～（3）の事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

本事業への信頼と理解が得られるよう、一般市民、事業所、官公庁等に本事業の意義と基本的な理念及び仕組みを周知するとともに、高齢者自身の本事業に対する意識啓発を次の通り行う。

<取り組み計画>

ア 地域の高齢者へ、シルバー人材センター事業を周知し、事業参加の呼びかけを行う

イ 普及啓発月間（10月）における普及啓発活動の推進

ウ シルバーだよりの発行（1回）

② 安全・適正就業の推進

高齢者が、自らの健康の維持と安全の確保を図りながら、センターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、安全意識の高揚と啓発活動を行う。

<取り組み計画>

- ア 安全委員会の開催（3回）
- イ 安全推進員を配置し安全パトロールの実施
- ウ 安全就業強化月間（7月）の推進及び安全就業推進大会の開催

③ 調査研究

高齢者の就業に対する意識調査及び地域のニーズや時代の要請に対応した事業展開を図るために次のとおり調査研究を行う。

- ア 高齢者の就業に対する意識調査を行う（入会説明会時等）
- イ 各種会議・研修会にて得た情報を基に研究し、シルバー人材センター事業に反映させる

④ 就業分野の開拓・拡大

地域の一般家庭、事業所、官公庁を訪問し高齢者に相応しい仕事を積極的に開拓するとともに、高齢者の職業能力や経験を把握分析し、地域ニーズに対応する仕事の提案などを行う。

<取り組み計画>

- ア 就業開拓員の配置による一般市民、事業所、官公庁等に就業開拓を実施する
- イ 会員等による就業開拓

⑤ 企画提案方式事業

地域社会における「介護」・「教育」分野の課題に 대응するため、地方公共団体と連携した地域密着型の事業を行う。

⑥ 相談・情報提供

入会を希望する高齢者を対象に入会説明会を開催し、高齢者からの相談に対応するほか地域における働く高齢者のワンストップサービスセンターとして、雇用、就業、職業能力開発、ボランティア活動、情報提供を一般市民や高齢者に行う。

<取り組み計画>

- ア 入会説明会の開催（4月～12月）
- イ 高齢者相談日の設置（毎月第2、4火曜日）

⑦ 社会参加活動の推進

ボランティア活動を希望する高齢者を対象に社会参加活動を一般市民と連携して実施する。

<取り組み計画>

- ア 糸満市が実施するボランティア清掃への参加（毎月第2土曜日）
- イ 慰霊の日に向けての平和祈念公園のボランティア除草作業等への参加（6月）
- ウ その他のボランティア活動や地域の伝統行事への積極的参加

(5) 運営体制

① 会議

- ア 定時総会の開催
- イ 理事会の開催
- ウ 地域班・職群班長会議の開催
- エ その他必要な会議の開催

② 事務局体制の充実

センターの事業運営には、事務局体制の充実が不可欠であり、そのために事務局職員の資質向上を図る。

ア 新たに導入される事業や再編事業等、変化していくシルバー事業に対応するための情報を収集し、組織的に対応できる事務局体制を構築する

イ 各種研修会への参加及び他のセンターとの連携により職員の資質向上を図る

ウ 事業を円滑かつ効果的に推進するため、定期的な職務会の実施

エ 沖縄県シルバー人材センター連合との連携